

さがみはら生物多様性 ネットワーク ニュース

発行 さがみはら生物多様性ネットワーク



キッズ特集

さがみんといっしょに発見！ 赤とんぼの秘密

『赤とんぼの大移動』

秋になるとあちこちで見られる赤いトンボ「アキアカネ」。実は、世界中でも珍しい田んぼと高い山を行き来するすごいトンボだよ。

アキアカネは、春、田んぼの水の中で生まれる。このときは、トンボの形ではなく、ヤゴと呼ばれる幼虫の姿。

夏になると、田んぼの水の中から出てきて稲の茎などに止まり、トンボに変身する。そのあとすぐに、高さが1,000mから3,000mもある山に移動するよ。山にたどりつくまでには、途中で休みながら、何日もかかるんだって。

そして、秋になるとまた山を下りて田んぼに戻ってきて、冬、田んぼに卵を産む。

夏に高い山に行く理由は、「アキアカネは涼しいところが好きだから」っていわれているけど、そんなに高い山に行かなくても、田んぼのそばの森や林など涼しいところはほかにもある。どうしても高い山に行くのか、本当のところはよくわかっていないんだ。

★参考にした本★
新井裕文・写真「田んぼの生きものたち 赤とんぼ」
農山漁村文化協会 2009年
佐藤幹夫 編「大自然のふしぎ増補改訂 昆虫の生態図鑑」
学研教育出版 2010年



さがみん

赤とんぼと 友達になろう！

赤とんぼは、細い棒の先や枯れた枝の先など、細いものの先によく止まっている。棒の先に止まっていればまわりの景色がよく見えて、小さい昆虫がどちらから飛んできてもつかまえてやすいからなんだ。赤とんぼが止まっているのを見つけたら、指を立てて静かに近づいてみよう。指先に止まってくれるかもしれないよ。



会員募集中

ネットワークニュース、入会申込書は「相模原市生物多様性ポータルサイト」からダウンロードできます！

相模原市 生物多様性 検索

津久井在来大豆をたずねて ～生物多様性と農業～

桜美林大学リベラルアーツ学群 佐々木歩美
渡辺 高志

みなさんは、「津久井在来大豆」をご存知ですか？
相模原市の津久井地域で、古くから栽培されてきた在来品種の大豆です。わたしたち桜美林大学リベラルアーツ学群・片山博文ゼミ（環境経済学）の学生は、いま、「生物多様性と農業」をテーマに勉強しています。地元の相模原市・津久井で在来大豆が育てられていると聞き、「鳥居原ふれあいの館」に栽培農家の菱山喜章さんをたずねました。

津久井在来大豆は甘みが強く、とくに加工するとおいしい大豆で、昔から津久井の農家では自家用にこの大豆を育てて味噌を作ってきましたが、だんだん作り手が減り、「まぼろし大豆」と呼ばれるようになってしまいました。菱山さんは、失われつつある在来大豆を守り、また地域おこしにつなげようと、平成11年から、市民が参加する「津久井在来大豆の栽培と味噌加工体験」に取り組んできました。これまで農業体験の参加者は延べ1600人を超え、津久井在来大豆の魅力にハマったりピーターの方も多そうです。認知度は徐々に上がってきていますが、菱山さんは「いま一番心配しているのは、次世代にこの大豆がどう受け継がれていくかです」とおっしゃっていました。

津久井在来大豆は、相模原のアンテナショップ「sagamix-さがみつくす」などで購入できます！
さがみつくすホームページ
http://sagamix.jp/product_category/processedfood/

お話をうかがったあと、津久井在来大豆の畑に案内していただきました。大豆はいまちょうど開花の時期で、生い茂った葉っぱをかき分けると、小さなかわいいうすむらさきの花が咲いていました。おみやげに納豆と味噌、それにきな粉をいただいたのですが、これ、本当に美味しいんですよ！家に持って帰って家族にも喜ばれました。みなさんも、相模原固有の「生物多様性」をぜひ味わってみてください！



津久井在来大豆の花をしめす菱山喜章さん

知ってる？

「MY 行動宣言」

MY 行動宣言とは、一人ひとりが生物多様性との関わりを日常の暮らしの中でとらえ、実感し、身近なところから行動する意思表示のことです。例えば、地元でとれたものを「食べる」ことは、輸送に伴う環境負荷の低減につながります。このように、5つの行動（「たべよう」「ふれよう」「つたえよう」「まもろう」「えらぼう」）の中からできることを選んで宣言し、実行することで、生物多様性を守ることができます。

国連生物多様性の10年日本委員会では、2020年の国連生物多様性の10年の最終年に向けて、MY 行動宣言をより広く国民の皆さんに呼びかけることにしており、100万人の宣言を目標に掲げています。みなさんも積極的にMY 行動宣言をして、生物多様性を守っていきましょう。

こちらのHPから、簡単にMY 行動宣言できます！
国連生物多様性の10年日本委員会HP <https://undb.jp/>

